

教科目名 歴史学概説 (History)

学科名・学年 : 全学科 5 年 (教育プログラム 第2学年 科目)

単位数など : 選択必修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 学習保証時間45時間)

担当教員 : 田中美穂

授業の概要			
中世から現代までブリテン諸島の歴史を中心に、各地の「ネイション」意識の形成やナショナリズムの動きに注目しつつ講義する。中世の王国から近世の主権国家へ、さらには世界一の帝国へと変貌するイングランドと、「ブリテン」という枠組みの中でイングランドに取り込まれていくウェールズ、スコットランド、アイルランドの関係をみていく。また、同時代のヨーロッパを中心とした国々のナショナリズムの動きについても、適時取り上げていきたい。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(A1), JABEE 目標(a)	
(1) ブリテン諸島, およびヨーロッパの国々の多様性を理解する (定期試験)。 (2) ブリテン諸島, およびヨーロッパの国々の「ネイション」意識やナショナリズムの動きについて理解する (定期試験)。 (3) 講義内容から選んだ歴史的なテーマについて考え, 論述する力を身につける (定期試験)。			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7	ブリテン諸島について 中世のイングランド 中世のウェールズ 中世のスコットランド 中世のアイルランド ヴァイキングとノルマン人 「アーサー王」伝説	「イングランド中心史観」を克服する「ブリテン諸島史」の重要性について理解できる。 ブリテン諸島のそれぞれの地域の王国形成史について理解できる。 「アーサー王」をめぐる史実と伝説の違いについて理解できる。	【理解の度合い】
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9 10 11 12 13 14	前期中間試験の解答と解説 十字軍：ヨーロッパとイスラーム世界 中世のヨーロッパの国々 近現代のブリテン諸島 ( 1 ) 近現代のブリテン諸島 ( 2 ) ヨーロッパの革命と主権国家の成立	十字軍を通して、ヨーロッパとイスラーム世界の関わりについて理解できる。 現在につながるブリテン諸島各地の「ネイション」意識について理解できる。 革命を通して主権国家が形成されていく過程を理解できる。	【理解の度合い】
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
16 17 18 19 20 21 22	帝国主義と植民地 第一次世界大戦 アイルランドの独立 第二次世界大戦 ( 1 ) 第二次世界大戦 ( 2 ) ヨーロッパの民族紛争 ( 1 ) ヨーロッパの民族紛争 ( 2 )	帝国主義の問題点について理解できる。 植民地とされた国々が独立を達成するまでの過程を理解できる。 ヨーロッパ各地のナショナリズムの動きについて理解できる。	【理解の度合い】
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24 25 26 27 28 29	後期中間試験の解答と解説 ブリテンの旧植民地の民族紛争 ( 1 ) ブリテンの旧植民地の民族紛争 ( 2 ) 北アイルランド紛争 ブリテン諸島の階級社会 現代のブリテン諸島の文化	現在の問題でもある、ブリテンの旧植民地であった地域(パレスチナをはじめとする中東、アフリカなど)の民族紛争について理解できる。 ブリテン諸島の現在の諸問題について理解できる。 非戦・紛争解決のために行われてきた世界の取り組みについて理解できる。	【理解の度合い】
30	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意		講義中に話す内容について、各自でしっかりノートまとめをすること。	【総合達成度】
教 科 書		毎回、レジюмеや資料を提供する。	
参 考 図 書		毎回、授業で紹介する。	
関 連 科 目		歴史学特論 ・ (専攻科1年), 世界史(2年), 日本史(1年)。	
総 合 評 価		計4回の試験の平均点によって評価するが、欠課は減点の対象となる。 総合評価が60点以上を合格とする。	
			【総合評価】 点